

銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和7年12月21日(土)

令和7年12月21日(日)付け南日本新聞13面に「重量挙げ九州ジュニア選手権」の記事が掲載されましたので、紹介します。

重量挙げ普及へ 中高九州選手権

入来体育館、きょうまで



懸命にバーベルを持ち上げる選手
＝入来総合運動場体育館

重量挙げのかごしま
国体記念杯九州ジュニア選手権が20日、薩摩川内市の入来総合運動場体育館で始まった。初日は高校男子の部があり、九州各県から22人が参加した。21日まで。

今年で2回目。県協会が昨年、中高校生が競技に触れる機会を増やそうと九州ウエイトリフティング連盟の協力を得て初めて開いた。65kg級を制した薩摩中央1年の萩原海翔選手は「今年競技を始めたばかり。他県の人と競うことができ良い経験になった」と話した。県協会の淵脇正三理事長は「選手が成長する機会になる。来年以降も続けて定着させたい」と意欲を見せた。
(神足恵大)